

第4回八丈島再生可能エネルギー利用拡大検討委員会

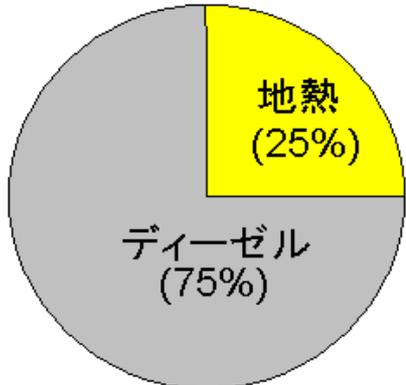
平成26年12月25日

中間整理までの 検討内容の確認

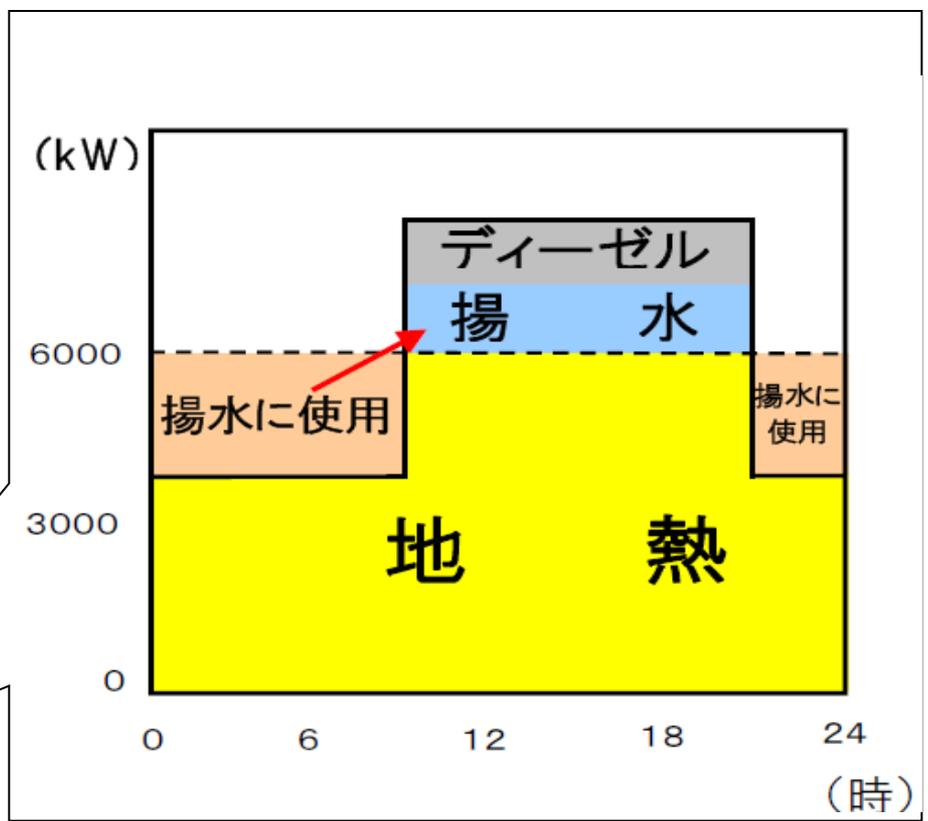
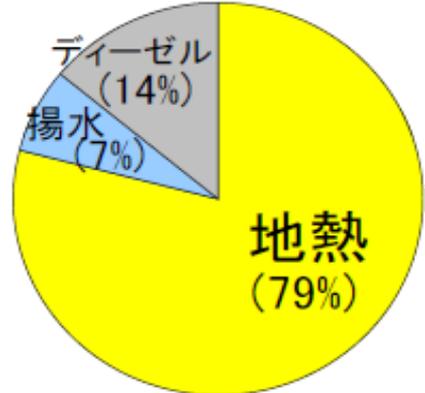


◆地熱大幅拡大検討を公表（平成25年1月4日）

現状の地熱の利用状況



地熱利用拡大のイメージ



- ① 地熱発電の規模を6,000 kW程度に3倍増
- ② 出力調整用の揚水発電（1,200kW程度）を導入

- エネルギー自給率を高め、全国的なモデル地域の創出
- 地域振興策など、事業を通じての地域への利益還元

◆検討委員会とワーキンググループ

八丈島再生可能エネルギー利用拡大検討委員会

委員構成：地域関係者、学識経験者、東京電力(株)、八丈町、東京都

検討内容の反映

具体的事項の検討

ワーキンググループ (WG)

WG 1

事業実現可能性
事業コストの精査

WG 2

電力安定供給
への影響と対策

WG 3

事業主体の検討
選定のルール作り

WG 4

地域理解の促進
利益還元策検討

●検討委員会をこれまで3回実施

- ・第1回 平成25年2月 1日
- ・第2回 平成25年5月17日
- ・第3回 平成26年1月23日

検討事項の整理
検討手法、検討状況の確認
中間整理（詳細は次頁）

●検討委員会&WGでの検討と並行して、住民説明会を開催。検討の進捗状況の報告、住民意見を検討へ反映。
⇒地熱発電所周辺住民より臭気の懸念

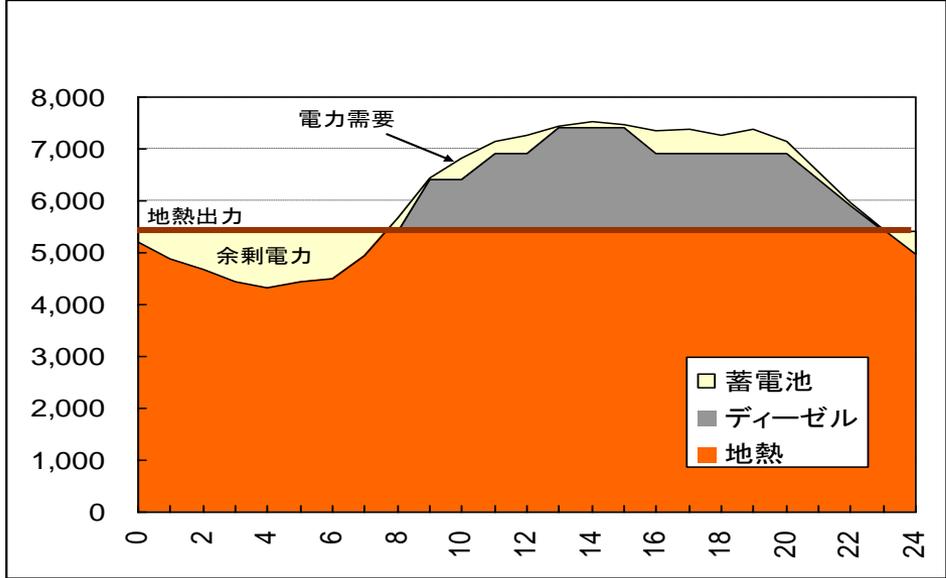
◆中間整理について

○平成26年1月の第3回検討委員会において、中間整理を行った。

中間整理の内容

- 夜間余剰電力対応及び周波数調整対応のため、蓄電池を活用
- 臭気の原因である硫化水素の発生をできる限り低減する発電方式の選択
- 既存の地熱送電線の増強

⇒上記の必要な対策とディーゼル発電の効率的運用により
地熱発電を現行の3倍程度に拡大することは、技術的に可能である。



1日における電源
構成のイメージ
(東京電力提供資料)